

## タウンミーティング あったかいまち「ふじみ野」を目指して

日 時 平成27年6月6日（土）午後2時30分～午後4時10分  
会 場 大井本町町会（大井分館）  
天 気 晴れ  
参加者 26人



### 主な意見等

参加者 おおい祭りが今年15回目を迎えます。今後、協賛金等が期待できない中、おおい祭りとお上福岡七夕まつりの位置付け等のお考えについてお伺いします。

市 長 上福岡七夕まつりは観光事業、おおい祭りはコミュニティ事業としての位置付けから始まっております。これまで、同じ日にできないのか等という意見が多くありました。しかし、お互いの歴史や思い等から、一方的に行政が決めるには難しさがあります。また、運営にかかる協賛金ですが、景気が全体まで行き届いていない中、余裕がないのが現状です。今後、祭りのあり方について、行政も含め、実行委員会同士が話す場を設けるなどして、お互いの意見を出し、理解し合う必要性があると思います。

参加者 この町会の組織率が4割を切ろうとしております。原因は20年前からマンションが立ち並び、自治会がある等の理由で町会に加入しない、その一方、ここ最近できるマンションは、行政からの強い要望等で加入しているのが現状です。この地域内で6割近くの世帯で、回覧板が回らない状態であり、何か良い方法はないでしょうか。

市 長 過去にタウンミーティングを開いた際、出席者の中に、マンション管理組合の方が3名ほどおり、管理組合はあるが自治組織を作らなければいけないという前

向きな考えをお持ちでした。

組織未加入であっても、最低、回覧板の体制などは協力してほしいと考えます。また、どの地域でも自治組織の加入率が低下している中、災害が起これば水の配給、食糧や物資等、いざというときの助け合いが一番大切です。行政としても、重要なことであると認識しており、住民に理解を求め加入促進に取り組んでおりますが、今後も地域と一緒に考えていきたいと思っております。

参加者 「おらんほう来ねかあ大井郷！」という団体を立ち上げ、地域の勉強会を行っています。市内の少ない貴重な文化財をどう保全していくか、また、織部塚は個人所有ですが、市としてバックアップしていただけないでしょうか。

市長 市内でも親水公園、権現山周辺等から埋蔵文化財が発掘されており、資料館等で展示し、もっとPR出来たら良いと考えております。また、織部塚は個人所有なので、市が管理・保全となると難しい部分もあり、ご意見として頂戴します。

参加者 この周辺の調整区域で本下水が整備されておらず、今後の計画等についてお聞きします。

市長 旧大井町、旧上福岡市時代から、以前の計画で全域に整備する計画がありました。しかし、なかなか計画が進捗しない中、埼玉県からも計画の見直しの指摘を受け、本市において、様々な試算シミュレーションや検証等を行うことで、公共下水道の整備計画では合併浄化槽は補助金対象外ですが、合併浄化槽が補助金の対象となるように計画の方針を見直すことも考えました。ただ、アンケートや検証等を進めていく中、本下水整備も可能ではないかという考えも残り、また、調整区域では広い敷地や受益者負担等を考慮すると、相当の費用が想定されることも現状の問題として残ります。

参加者 2市1町の合併等についてお聞きします。

市長 国も債務が1千兆円を超え、財政難の時代を迎える中、公共インフラ等を含めた課題が山積し、今のままでは耐えられません。また、国民健康保険については、平成30年度を目処に、自治体から県単位での運営を予定されておりますが、徴収事務は市町村事務に残されます。また、市の徴収事務の現状は、徴収率が上がらず一般会計から特別会計に年間10億円近くを入れているのが実態です。

本市は旧大井町と旧上福岡市が合併をしたことで、首長や各職員等の数を減

らす等の人件費削減や、平成32年度までは地方交付税の特例措置等で恩恵もある等、財政の健全化を図ってきました。今般の少子高齢化、人口減が進む時代では、小規模なまちでは賄いきれないのが実態です。

また、合併したことによって、制度や施設等の統廃合の難しさもありますが、待ったなしだった清掃センターの整備等、合併特例債等を利用し、取り組めたことなど、効果は大きいものだと考えます。そして、ふじみ野市はこども優先の施策を展開し人口増に転じている中、本市の各職員も国の施策等に注視をし、支える側に人を増やすことや、魅力あるまちづくりを念頭に、市に有利となるよう、必死になって業務に励んでおります。

今のところ、2市1町合併の具体的な話しはありませんが、管内には一部事務組合の消防組合や衛生組合があり、別々の運営では非効率であり、事務を統合することで費用の削減が図れること等を提起し、ここで、2市1町の首長の間で同意され、今後進展が図られていくと思います。

参加者 分館と集会所の統一等についてお聞きします。

市長 旧上福岡市の集会施設は、市が土地を提供し、自治組織が補助金や寄付金を集うなどして施設整備し、維持管理費等も自主で行っております。また、旧大井町の分館施設は、公民館分館としての利用のほか、集会施設としても利用されておりますが、町会が費用を負担していないのが現状です。

本来の姿は受益者負担であると感じますが、今後10年、20年後を見据えた時、現状で組織率低迷等の問題があり、仮に人数が減少してしまった際、維持、運用ができるのか等の課題があります。今後、例えば施設を統廃合して、交代で会合を持ち、維持管理を市で行うことや、市も一定の費用を負担し、町会もある程度の負担をする等、最良な方法を考えていかなくてはならないと思います。

また、旧大井町の分館としてきた経緯として、補助金を受けるなどして町の負担軽減が図られ、近隣に風俗施設等が制限される等、様々なメリットがあることから展開されてきました。

今後、子ども達のため学校施設や介護の問題等、将来にわたり様々な課題が膨らむ中、限られた財源で、削らなくてはいけないものと、これから本当に必要となるものを精査し、時には我慢も必要になります。東も西の隔たりなく全ての地域で不公平感がないように進めていくにはどうあるべきか、町会組織を含め、みんなで考えていく必要があると思います。

その中で、町会の組織率の低迷や、分館と集会所の課題は大きいものと感じており、早々に答えをだすのではなく、町会、自治会の皆さんとじっくり膝を交え、考えていく必要があると思います。

参加者 分館をお借りして図書館の地域文庫を立ち上げた経験から申し上げますと、分館があつてこそ地域密着が図れたのだと思います。ハード面は市役所等、ソフト面は地域等が運営（運用）していくことが、まちづくりにとって非常に重要なことだと感じています。また、地域文庫は図書館のバックアップがあつてこんなに続いてきたところもありますので、住民が自主的に動くとともに、それを支える熱心な職員の力があつてこそ、地域が立ち上がっていくんだろうなと思います。

市長 これまで、地域の方々が尽力されてきたことにお礼を申し上げます。市で出来ないことを、地域の方々が担っていただき、また、お金で解決できない問題も多くあります。昔と違い、様々な事務が多岐にわたる一方、職員の人数も減らしてきました。例えば、売り上げがない会社が社員を増やすようなことはしません。今の時代は、税収は増えず、水道管や公共施設等の老朽化、施設の耐震補強等、課題だけが増え続け、費用は市民の皆様からの税金ですべて賄われています。今後、我々も皆様に合併によって施設の統廃合の問題や効果等を、もっとお伝えしていかなければいけないと思います。また、市内循環バスについて、公共交通会議を立ち上げ、受益者負担の理解を得ながら、抜本的な見直しを図り、利便性を高めていきたいと考えております。

参加者 合併して大井総合支所の機能が低下し、本庁舎へ行くにも道路が混雑して不便に感じています。

市長 私が市長に就任してから、大半の事務は大井総合支所で手続きが行えるようにしました。また、どうしても本庁舎にいかないと手続きが出来ず、自動車や自転車等の運転が困難な方のために、昨年度までシャトルバスを運行しておりました。今年度、利用者が少なく、経費の増大から廃止しましたが、廃止した4月以降、本庁舎に行きたいがバスに乗れないといった苦情は一件もありません。逆を言えば、本庁舎に行かなくては手続きが出来ないものは減ってきていると考えます。しかし、上下水道課などは本庁舎隣なので、まだまだご不便を感じる部分もあると思いますが、お客様の利用目的等をお聞きし、極力大井総合支所で手続きが済むよう、可能な限り応える姿勢で事務を進めてきているところです。